

新入生の保護者の皆さま

## 教育後援会について（ご紹介）

教育後援会会長 安倍 千鶴

保護者の皆さま、新入生の皆さま、ご入学お祝い申し上げます。

武庫川女子大学教育後援会は、学生の皆さんが安心安全で充実した学生生活を送ることが出来ますように、より良い環境づくりに取り組んでおります。

1965年に保護者会として発足し、皆さまからお預かりしております会費をもとに、キャリア支援、学友会活動の支援、健康支援などを行っております。在学生の保護者で組織され、本部と支部（北陸・中国・四国・九州）が置かれています。

毎年6月に定期総会が開催され、事業や予算の審議を行い、その内容は定期総会議事概要として、皆さまにお届けしています。

定期総会においては、クラスから選出された「評議員」の保護者の方にご出席をお願いしています。

主な活動行事としましては、8月から9月にかけて地域別教育懇談会を本部・支部4ヶ所で開催しております。

各支部の会場では、学科代表の先生方との個人懇談、就職内定者や卒業生による就職活動体験談の発表、懇親会などを行い、参加される皆さまの親睦を深めて頂く機会となっております。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、各会場に参加された皆さまとリモートによる新しい形での開催となりました。対面で実施していた時の本部会場では、各地域のプログラムに加え、講師の先生をお招きして就職講演会を行っていました。最新の就職情報や、学生の皆さんには学生生活を見つめ直す機会に、保護者の皆さまには、サポートについてなどを知る機会となり、大変好評を頂いておりました。

またコロナ対策として、学内行事で活用出来るようにサーマルカメラ(体表面温度測定機)の導入やPCR検査費用の助成等、様々な取り組みを行っております。

最後に保護者の皆さまにお願いがございます。クラスの「評議員」は各クラス担任の推薦によって選出されます。4月半ばには依頼の文書が発送されますので、届いた方は、是非ともお引き受けくださいますようお願い申し上げます。

今後とも教育後援会の活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。